

## 心臓病患者家族のためのAED心肺蘇生法講習会開催のお知らせ

- ・日程：年3回程度（詳しくはクリニック看護部にお問合せください）  
（各回とも同じ内容で行います。）
- ・時間：15時00分～17時00分
- ・参加資格：75歳未満の方  
※足や腰に痛みがある方、持病のある方は  
お受けすることができない場合があります。
- ・参加費：無料
- ・開催場所：榊原記念クリニック



参加ご希望の方はナースコーナーへお申し出ください。

### ❁ 榊原記念クリニック ※原則予約制です

所在地：〒163-0804 東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NS ビル 4 階  
代表電話番号：03-3344-3313



受付時間(初診の方)：月～金曜 8：30～11：00 13：30～16：00 土曜 8：30～11：00  
(再診の方)：月～金曜 8：30～12：00 13：30～16：30 土曜 8：30～12：00

### ❁ 分院検診センター ※完全予約制です

受付時間：月～金曜 9：00～16：30 予約専用電話 03-3344-4677 (循環器ドック担当者まで)



#### J R 線

新宿駅南口、中央西口、西口から徒歩10分

#### 小田急線

新宿駅から徒歩10分

#### 京王新線・都営地下鉄新宿線

新宿駅新都心口から徒歩5分

#### 都営地下鉄大江戸線

都庁前駅から徒歩5分

#### 京王バス(宿41、宿45系統)

新宿駅西口(京王デパート前、20番乗り場)から  
「中野車庫、中野駅行」に乗り2つ目の「新宿  
NSビル」下車

#### 京王バス(新宿都心循環バス)

新宿駅西口(京王デパート前、21番乗り場)から  
「新宿ワシントンホテル」下車



# はーとなび

|編集・発行| 榊原記念クリニック 広報委員会 ● 新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NS ビル 4 階 TEL03-3344-3313

## 今号のトピック

### ～経カテーテル的大動脈弁留置術～



公益財団法人日本心臓血管研究振興会附属 榊原記念病院 循環器内科 佐地 真育 医長

2002年に初めてフランスのルーアンでDr. Alain Cribierにより経カテーテル大動脈弁留置術(TAVR)が行われて以来、カテーテルによる弁膜症治療は近年目覚ましい発展を遂げています。低侵襲治療であるTAVRは開胸歴、併存症(肺疾患、腎障害、肝疾患等)、フレイル(虚弱)といった観点から外科手術のリスクを持った高齢者に対する外科手術の代替治療として始まりましたが、現在ではその有効性が確認され、低～中等度リスクの比較的若年の患者においても外科手術にとって代わり、大動脈弁治療の標準治療となりました。

本邦ではバルーン拡張型の SAPIEN 3 弁と、自己拡張型の CoreValve Evolut R/PRO 弁が認可されており、両者とも榊原記念病院で使用が可能です(図1)。

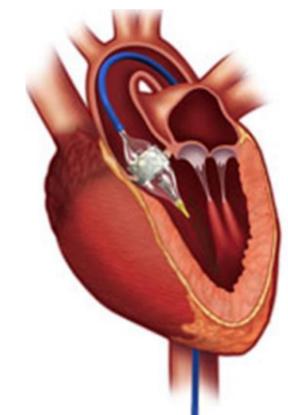
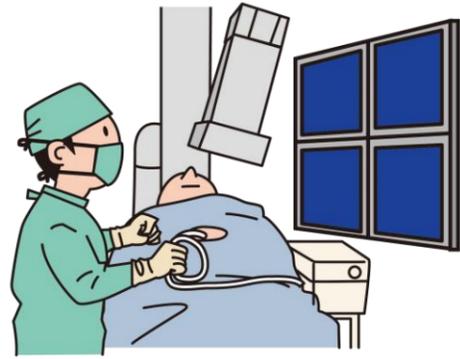


図.1 バルーン拡張型弁を用いた TAVR

画像提供：エドワーズライフサイエンス

>>2 ページ (裏面) につづく



当院は本邦の臨床試験から TAVR に携わっており、2010 年からの TAVR 総数は本邦でも 5 本の指に入り、昨年(2018 年)は 228 名の方に治療を行い、本邦で最も多数例の経験があります。その経験により医師のみならず医師以外のスタッフも TAVR によく精通しており、治療の安全性は以前にも増して高まっています。

TAVR が一般的となった後、欧米では外科生体弁不全にさらに新たな弁をカテーテルにより挿入する手術 (Valve-in-Valve 術) (図 2) が TAVR と同様の機器で行われ、現在は大動脈弁位のみならず、僧帽弁、三尖弁、肺動脈弁位においても行うことができます。本邦でも大動脈弁位に続き、その他の弁位における Valve-in-Valve 術の適応拡大が期待されています。

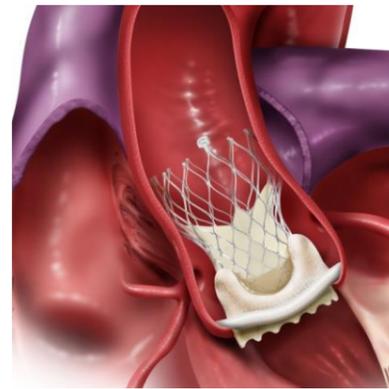


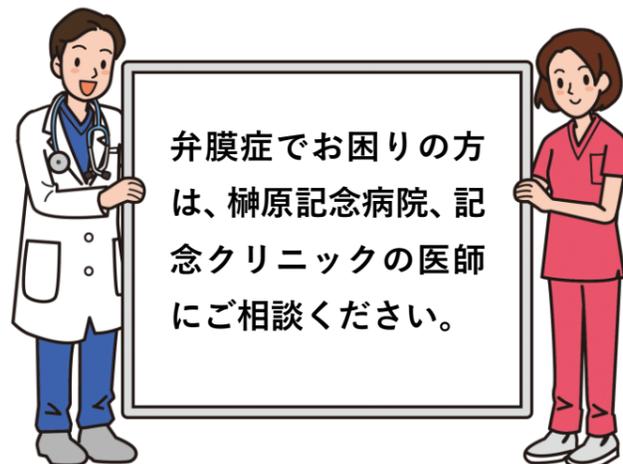
図.2 自己拡張型弁を用いた Valve in valve

画像提供：メドトロニック



現在、目覚ましく発展している TAVR は、心不全を合併した中等度大動脈弁狭窄症、また無症候性高度大動脈弁狭窄症に対するカテーテル治療としても期待されています。

これらの有効性を検討する臨床試験は欧米ですでに始まっており、大動脈弁狭窄症に対する疾患自体の認識や弁膜症疾患への治療戦略が大きくかわってくる可能性を秘めています。今後の診療体制において最も重要な要素の 1 つは外科医、内科医、インターベンション専門医、心不全専門医、リハビリテーション専門医、看護師、臨床工学士、放射線技師といった多職種によるハートチームであり、医療スタッフ一人一人がそのチームワークを意識して日々診療に当たっております。



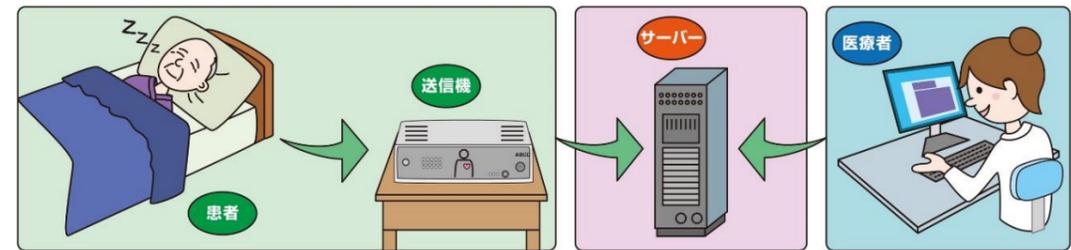
弁膜症でお困りの方は、榊原記念病院、記念クリニックの医師にご相談ください。



## ～遠隔モニタリングシステム～ (RMS : Remote Monitoring System)

榊原記念クリニック 遠隔モニタリングチームより

従来は心臓ペースメーカ、植込み型除細動器、植え込み型ループレコーダーなどを植込まれた患者さんは、定期的に医療機関を受診して機器の点検をする必要がありました。遠隔モニタリングシステムは、ペースメーカなどの情報を自宅に設置した専用の機器が読み込み、電話回線を通じてサーバーに送ります。医療従事者は専用のパスワードを用いてサーバーにアクセスして WEB 上でその患者さんの情報を確認することができる遠隔診療システムの一つです。



遠隔モニタリングシステムのメリットは、自宅に居ながら受診した時と同様の情報が確認できるため、外来受診回数を減らすことが可能であること。万が一急に動悸などの気になる症状を感じた場合に、従来は医療機関を受診しなければ異常があるか判断が難しいことがありましたが、このシステムを使い情報を確認することで、自宅に居ながら緊急性の判断ができることなどがあります。

我が国では 2008 年に薬事承認があり 2010 年に保険償還がなされ利用患者さんが増加しています。現在の我が国において使用可能なメーカーは 4 社のみのためそれ以外のメーカーの機器を使用している方は残念ながら利用できません。



クリニックでは遠隔モニタリングチームを作り、患者さんのデータを確認しています。看護師は毎日情報を確認し、定期的なチェックの際はデータが確認できなければ患者さんにご連絡しています。また定期チェック予定以外でデータが来た場合は内容を確認し必要に応じて、情報を検査技師や医師と相談し直接患者さんにご連絡し症状を確認することもあります。

患者さんがこのシステムを利用しながら安心して日常生活が過ごせるように、チームで協力しながら取り組んでいます。